

愛西市でれんこん農家になろう！

—— れんこん道場の研修生を募集しています！ ——

愛西市でのれんこん栽培



全国でも有数の生産量を誇る愛西市のれんこん。

愛西市でのれんこん栽培の歴史は古く、江戸時代に旧立田村戸倉の陽南寺住職が門前にある田んぼに植え付けたのが最初と言われております。

木曽川の豊かな水と肥沃な土壌に恵まれて育った当産地のれんこんは、全国4位の栽培面積・出荷量を誇ります。

収穫方法は、当産地の主流の収穫方法である「鍬掘り」と水圧を利用して収穫する「水掘り」の2通りがあります。

主な栽培品種は、鍬掘りに適した「ロータスホワイト」「備中」、水掘りに適した「金澄(かなすみ)」の3品種です。

収穫後は、褐変防止として「泥付き」のまま出荷をしているため、他産地のれんこんより比較的長持ちするところが特徴です。

しかしながら、高齢化や後継者不足により、年々生産者数・出荷量がともに減少しています。

今後も愛西市のれんこんを消費者の元へ届けるためには、産地を維持・拡大する必要があります。そのため、新たにれんこん栽培を始めたい方を研修生として受け入れ、定着させる支援を行っています。



れんこん道場ではどのような支援が受けられる？

れんこん道場では、産地振興を目的とした組織である【れんこん産地協議会】を研修生受入機関とし、受入農家の元で2年間の研修をおこないます。【れんこん産地協議会】は、県・市・JA あいち経済連・JA あいち海部・研修受入農家で構成されているため、多面的にサポートをすることが可能です。

【れんこん産地協議会】での支援内容の大ききは以下の通りです。

- ◆ 研修受入農家による技術指導・経営指導
- ◆ 定期巡回・研修会による栽培指導
- ◆ 就農計画・資金利用計画作成
- ◆ 農地・中古農機等の斡旋
- ◆ 補助事業の活用 など



収穫作業の様子



研修会の様子

募集について

現在、研修生(令和9年1月研修開始)を募集中です。事前相談も随時受付しております。お気軽にお問い合わせください。

問 JA あいち海部 農産部担い手課 ☎(23)6913



れんこん道場

検索

事業の詳細につきましては JA あいち海部のホームページもご確認ください。